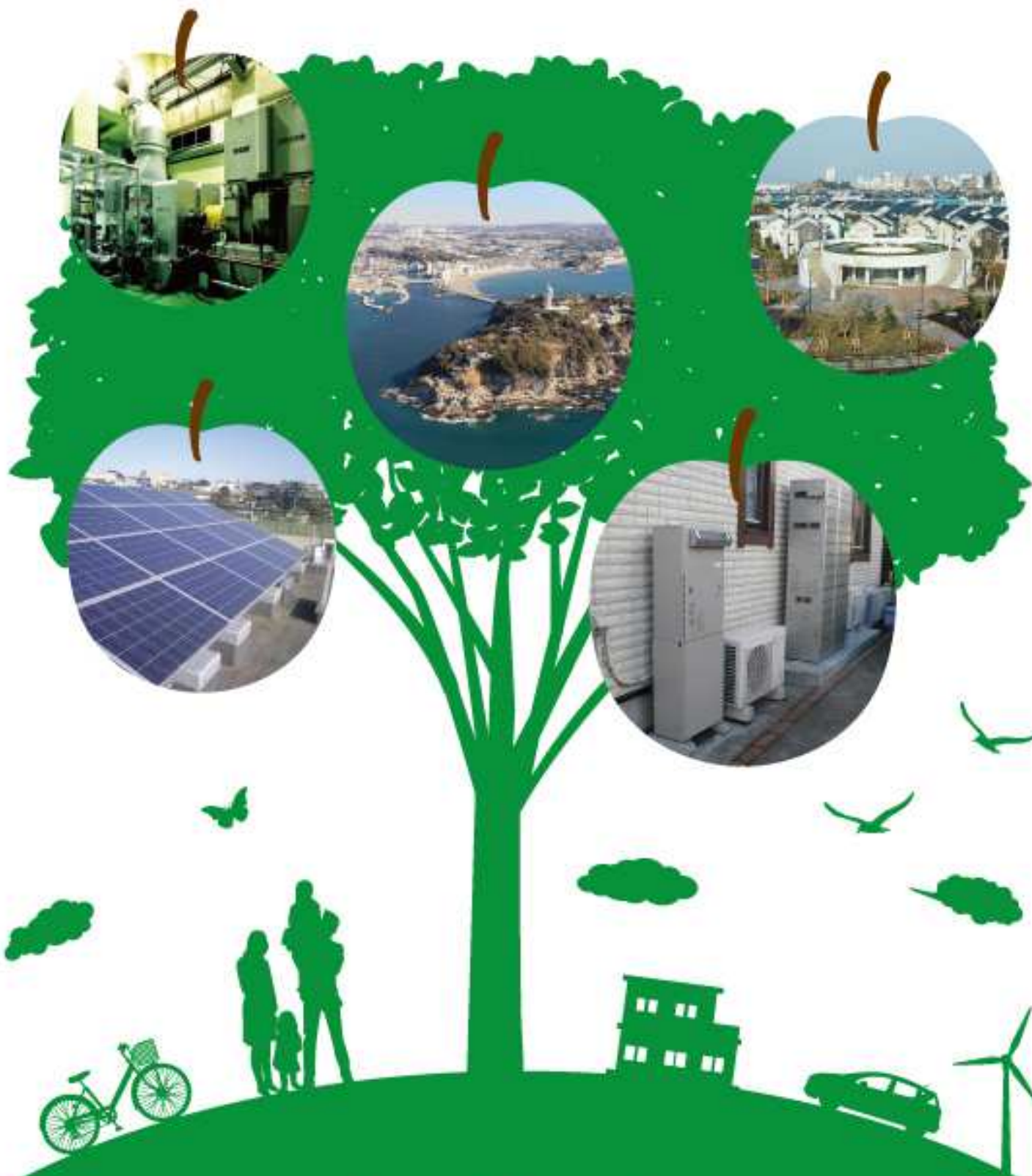


藤沢市エネルギーの地産地消推進計画



2015年（平成27年）2月
藤沢市

はじめに

藤沢市は、美しい湘南海岸やみどり豊かな自然環境に恵まれ、文化・歴史が織りなす景観は、私たちの快適な生活を支えています。

この恵み豊かな自然環境と都市環境を保全し、次の世代へ引き継いでいくために、1996年度に「藤沢市環境基本条例」を制定しました。また、この条例に掲げる基本理念や、環境に関する基本的な施策を総合的・計画的に推進するため、1998年度に「藤沢市環境基本計画」を策定しました。

2005年度に「藤沢市環境基本計画」を改定した際には、この計画のリーディングプランとして、地球温暖化対策地域推進計画も策定し、太陽光発電システムの普及など様々な温暖化防止策を推進してまいりました。

さらに、2010年度には、地球温暖化対策地域推進計画の計画期間満了に伴い、新たに「藤沢市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。達成目標を「1990年度比で2022年度までに温室効果ガスを40%削減する」として、2013年度にはエネルギーの地産地消の推進を見据えた取り組みを重点プロジェクトに加えるなど、直近の課題に対応する内容の一部改定いたしました。

こうしたことを背景に、この度、本市の自然環境や都市基盤に適した再生可能エネルギーの普及やエネルギーの地産地消の仕組みづくりを推進し、エネルギー起源の温室効果ガス削減を図っていくため、2015年度から2024年度までの10年間を計画期間とした「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」を策定いたしました。

今後は、本計画で目標とする「エネルギーの地産地消によるエネルギー供給割合を10年後の2024年度に現在の2倍とし、5%、1,500TJへと増加させる」を実現させるため、再生可能エネルギーの普及とエネルギーの地産地消の推進に取り組んでまいります。

本計画の策定を契機として、本市が目指す「郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～」の実現に向けて、計画の推進に努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、ご意見をいただきました「藤沢市エネルギーの地産地消検討会」、「藤沢市環境審議会」の各委員の皆様をはじめ、数多くの貴重なご意見をいただきました市民や事業者の皆様から感謝申し上げます。



2015年（平成27年）2月

藤沢市長 鈴木 恒夫

目次

第1章 エネルギーの地産地消推進計画の役割	1
1 エネルギーの地産地消推進計画策定の目的	2
2 エネルギーの地産地消推進計画の基本理念・施策の視点	3
3 計画の期間	3
4 計画の対象とするエネルギー供給システムや手法	4
5 エネルギーの地産地消推進計画の目標	4
第2章 藤沢市のエネルギー需要	5
1 エネルギー需要量調査の目的	6
2 産業分類別のエネルギー需要量（推計値）	7
3 第一次産業におけるエネルギー需要量の把握と分布	8
4 第二次産業におけるエネルギー需要量の把握と分布	12
5 第三次産業におけるエネルギー需要量の把握と分布	20
6 家庭におけるエネルギー需要量の把握と分布	25
7 運輸におけるエネルギー需要量の把握と分布	28
第3章 藤沢市のエネルギー供給	29
1 藤沢市のエネルギー供給状況の推定	30
2 再生可能エネルギーの導入ポテンシャルと分布	31
3 地消・省エネにつながるエネルギー供給設備等の導入ポテンシャル	35
第4章 エネルギーの地産地消の取組の具体化に向けて	41
1 エネルギーの地産地消の施策検討における留意点	42
2 地産地消のための施策展開	45
3 プロジェクト	46
4 重点プロジェクト	47
5 重点プロジェクトの実施によって期待される効果	69
6 可能性検討プロジェクト	70
7 計画の進行管理と計画の具体化方針	71
資料編	75

